

三木みらい会議 青山地区のまとめ

① 三木市の自慢や課題	② どんな地域にしたいという夢	③ ②で出た夢を実現する上で、地域でできること	④ 地域の思い
<p><自慢></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児医療が中学生まで無料である。 ・各丁目に広い公園がある。 ・地域のコミュニティが活発である。 ・静かで住みやすい。 ・高齢者にとって住みやすい。 ・都会過ぎず田舎過ぎない。 ・空気や水が綺麗である。 ・公園が広い。 ・ゴルフ場がある。 ・ホースランドパークがある。 ・施設の駐車場が無料で広い。 ・金物などの特産物がある。 ・治安が良い。 ・県外から人が来るイベント（金物まつりなど）がある。 ・インターチェンジなど、道路網に優れている。 ・風水害に強い。 ・幼稚園から大学まで揃っている。 ・歴史のあるまちである。 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館があると良い。 ・働いている人にとって交通が不便（本数が少なく、最終が早いバス）。 ・特産物をアピールしている実感が無い。 ・おみやげに適したものが無く、アピールしにくい。 ・産科が無い。 ・祭以外のときは市に賑わいが無い。 ・娯楽施設が無い。 ・城跡周辺の道が不便である。 ・市役所の入り口が暗い。 ・職員の顔が怖く、暗いので、市役所に行くのが怖いという人もいる。 ・優れた道路網が活用されていない。 ・市内の道が不便 ・歴史のまちであることをPRできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を優遇する施策ではなく、若者が暮らしやすくなる施策が多いまち。 ・若者が就職できる仕事があるまち。 ・再雇用の制度や高齢者の働き口があるまち。 ・企業誘致が進むまち。 ・飲食店の送迎など、個人事業主が経営しやすいまち。 ・服屋等、子育て世代が使いやすい施設があるまち。 ・小学生、中学生、高校生の居場所があるまち。 ・突出した長所があるまち。 ・森林公園、クラフト館に、校外学習をはじめとして多くの人があるまち。 ・定年後の金物職人が講師となって、体験活動ができるまち。 ・市街地にもデマンド交通が発達しているまち。 ・スポーツ合宿ができる宿泊施設があるまち。 ・ビーンズドーム等を活用したり、ゴルフ、ホースランドパーク、テニス等、スポーツ振興の盛んなまち。 ・市役所の機能を公民館に移し、地域の声がすぐに反映されるまち。 ・学校教育の一環としてゴルフができるまち。 ・子どもや子育てをする親が暮らしやすいまち。 ・行政が自治会に歩み寄って意見を聞き、施策に反映させるまち。 ・三木 IC で降りた他市の人に三木の良さをPRできるまち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政が協働し、情報発信をする。 ・行政との関わり（消防士の体験など。）を学校でできるよう、PTA 等で意見を出す。 ・新しい施設ができたときにPR できるような回覧板などで周知する。 ・SNS 等で三木の魅力を、外国に向けて発信する。 ・自動車の同乗を誘いかける。 ・地区で助け合いができる目印を作る（同乗など）。 ・Uber（ウーバー）へ参画する。 ・YouTuber の事業を立ち上げて、地域が動画制作に協力する。

